

北海道上ノ国高等学校

課程 全日制
 学科 普通科
 生徒数 82名

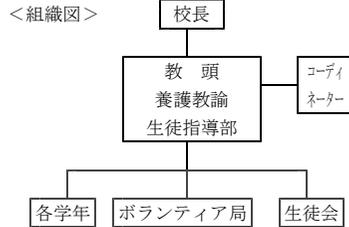
1 事業のねらい

本校には、多様な生徒が入学しており、学校不適応の課題を抱える生徒も在籍していることから、不登校や中途退学等の予防・未然防止のため、生徒にコミュニケーション能力を身につけさせ、望ましい人間関係を形成させる取組が必要である。そのための取組として、構成的グループエンカウンター、ピアサポート、アサーショントレーニングなどの集団カウンセリングの手法を取り入れた生徒への支援を実施したり、コミュニケーションスキルを生かす機会としてボランティア活動等を体験させたりすることを通して、生徒に高校卒業後も社会に通用するコミュニケーションスキルを身に付けさせることを目指している。

2 取組の経過

- 4月 ・全校生徒による学校周辺のボランティア清掃
- 7月 ・学校環境適応感尺度「アセス」の実施
 ・全校生徒対象にコミュニケーションスキル育成の活動
 ・ボランティア局による療育ボランティア活動（月1回 7月～3月まで）
- 9月 ・教員研修
 ・2学年対象にコミュニケーションスキル育成の活動
 ・ボランティア局、生徒会執行部による小中高合同で交通安全を呼びかけるボランティア活動
- 11月 ・1学年対象にコミュニケーションスキル育成の活動

- 12月 ・ボランティア局による小学校への喫煙防止出前授業
 ・ボランティア局による高齢者あての年賀状作成
- 2月 ・1学年対象にコミュニケーションスキル育成の活動（宿泊研修）
 ・学校環境適応感尺度「アセス」の実施



3 主な取組の内容

- 1 コミュニケーションスキルを育成する活動の実施
 - ・第1回〈全校生徒対象〉
 生徒間のコミュニケーションを円滑にするための活動（アイスブレイク、非言語交流等）
 - ・第2回〈2学年対象〉
 「仲間同士の意思伝達と共有」をテーマに、コミュニケーションを通して生徒が協力して問題解決を図る活動（細分化された情報からの地図作成）



- ・第3回〈3学年対象〉
 「意思表示と集団での意志決定」をテーマに、自分の考えを述べ、グループの最善案を決める活動（校内マラソンの選手選び）
- ・第4回〈ボランティア局、生徒会執行部の生徒対象〉
 自己理解、他者理解を深める活動（ジョハリの窓、心の窓）
- ・第5回〈1学年対象〉
 「イメージの具体化」をテーマに、日常生活における相手に聞く質問の在り方を見直す活動（限定された質問方法のみで相手が思い描いている物を推測する活動）

- 2 教員研修会
 「不登校についての考え方と支援・援助の方策」に関する校内研修会
- 3 コミュニケーションスキルの育成する機会の確保
 - ・全校生徒による学校周辺のボランティア清掃
 - ・ボランティア局による療育ボランティア活動（月1回 7月～3月まで）
 - ・ボランティア局、生徒会執行部による小中高合同で交通安全を呼びかけるボランティア活動
 - ・ボランティア局による小学校への喫煙防止出前授業
 - ・ボランティア局による高齢者あての年賀状作成



4 成果と課題

- 成果
 学校環境適応尺度「アセス」の調査結果から、生徒の「対人的適応」が十分でないことが明らかになったことから、教員は、個別的教育相談を充実させるとともに、生徒同士がお互いに認め合うことができる機会を、授業やHRにおいて意識的に設けるように取り組んだ。このことにより、生徒は、固定された友人関係から一歩広げた人と人とのコミュニケーションを通じた自己理解、他者理解を深めるなど、心地よい人間関係づくりを一歩ずつ進めている。
- 課題
 ボランティア局員が多い2学年において、生徒の「対人的適応」が著しく改善したことから、今後、ボランティア局や生徒会執行部の生徒だけでなく、より多くの生徒が主体的に取り組むことができるボランティア活動を充実させる必要がある。また、校内研修等を通して、教職員のカウンセリング能力の向上を図ることが課題である。
- 次年度に向けて
 コミュニケーションスキルを高める活動を、生徒会等が中心となって継続的に取り組む予定である。